



「つるたスチューベン」が 地理的表示保護制度（GI）に登録されました

△GIの登録証とつるたスチューベンを持つ相川町長とつるたスチューベン日本一推進協議会（以下協議会）の成田義弘会長



△農林水産省から発行された登録証

全国初のブドウでの登録

昨年3月9日に申請し、登録を目指していた地理的表示保護制度（GI）に、3月20日（水）、町の特産品であるつるたスチューベンが登録されました。

GIとは、伝統的な生産方法や気候・風土・土壌といった生産地などの特性が、品質などに結びついている産品の名称（地理的表示）を知的財産として登録し、保護する制度です。農林水産省では、GIの導入を通じて、それらの生産者の利益を図ると同時に、農林水産業や関連産業の発展、需要者の利益を図るよう取り組んでいます。

効果は左記のとおりです

- 原則として、登録された基準を満たす産品のみに地理的表示が使用される。
- 品質を守るもののみが市場に流通。
- GIマークにより、他産品との差別化が可能。
- 訴訟などの負担なく、自らの産品のブランド価値を守ることに繋がる。
- 地域共有の財産として、産品の名称が保護される。

現在、町内のスチューベン農家は、全て「津軽式改良仕立法」で栽培しています。つるたスチューベンの名前を使用するためには、つるたスチューベン日本一推進協議会（津軽ぶどう協会、つがるにきた農協鶴田ぶどう部会、（有）津軽ぶどう村などで構成）の会員になったうえで、つるたスチューベンの規格を満たすことが必要になります。

相川町長は「協議会や生産者など、関係者の皆さんのおかげで登録に至ることができた。生産者は、つるたスチューベンのブランドを守りながら、生産に励んでもらいたい。GIを励みに、PR活動にさらに力を入れ、地方創生に結びつきたい」と力強く話していました。

GI登録喜びを報告

4月2日（火）、つるたスチューベン日本一推進協議会の成田義弘会長が相川町長の下を訪ね、GI登録を報告しました。登録証を手にした相川町長は「関係者の努力の成果で、とて

も嬉しい。これまで以上にトップセールスをしていきたい」と登録の喜びを語りました。成田会長も今後の販売にあたり「若い力を生かし、知名度を上げていくことで価格に反映したい」と



意気込みを話しました。

また、4月10日（水）には、協議会や町関係者らが青森県庁を訪ね、三村申吾知事を表敬。登録にあたっての喜びを報告しました。

協議会の成田会長は「ブドウでは全国初の登録となった。GI産品として販売額の向上を目指して頑張りたい」と力を込め、同行した成田正利副町長は「（県外イベントで）知事にはつるたスチューベンをたくさんPRしてもらった。トップセールスが非常に効果的だった」と感謝を述べました。

スチューベンジュースやスチューベン大福などを試食した三村知事は、そのおいしさを絶賛し「自信を持ってPRしてきた。青森県はリンゴだけじゃなくブドウもすごいと言える。手に取って、食べてもらえれば感動してもらえる。GIをいろいろと活用して、どんどん販売してもらえれば」と、これからの販売拡大を期待しました。

つるたスチューベンはGI登録産品として75番目。青森県産品では「あおもりカシス」「十三湖産大和シジミ」「小川原湖産大和シジミ」「浄法寺漆」に次いで5番目の登録となっています。そして、何よりもブドウでの登録は全国初で、これにより他産地との差別化が図られ、作付け面積、生産量共に日本一のつるたスチューベンの一層の知名度向上と優位販売が期待されます。



鶴田町役場産業課 農業振興班
須藤 雄太 主事

町で40年以上続くスチューベン栽培の歴史と、生産者独自の栽培方法の「津軽式改良仕立法」が、認められたということで大変うれしく思います。

GI登録では、「出荷規格の統一」のため各生産者団体と何度も協議し基準を定めました。町では、「つるたスチューベ

ン」の販路拡大に向けた施策を効果的に展開し、生産者の所得向上に繋げていきたいと思ひます。

生産者の皆さん、消費者に驚いていただけるような極上の甘さの「つるたスチューベン」を生産し、知名度向上・高付加価値化に向けて一緒に頑張っていきましょう！

申請から登録まで約1年かかったので、「やっと決まったか」という思いです。登録までに、現地調査や説明会など努力してきましたが、これまで以上に努力して、GIのマークに恥じないよう一生懸命栽培したいです。

つるたスチューベンの品質は確立しているの、これからは、宣伝や広告を若い人に頑張ってもらいたいと思っています。若い人を育てて、東京などのトップセールスも経験させたいと思っています。

今後つるたスチューベンの売り上げを伸ばして町に貢献したいです。



つるたスチューベン日本一推進協議会

成田 義弘 会長